

特定非営利活動法人手賀沼トラスト 会報 第26号 発行日:平成25年9月1日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail:info@teganuma-trust.jp ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



活動報告

第4回 かかし祭り

交流事業グループ

今年のかかし祭りは手賀沼トラスト創立15周年記念プロジェクトの一つのイベントとして、例年より少し内容を増やしての開催となった。一つ目はスイカ割りだ。國方さん指導の下、「全日本スイカ割り推進協議会」! ?のルールに遵って行われた。誘導の上手い、下手もあるが、折角正面に立てても振り下ろす段階で力んでしまいスイカに当たらなかつたり、まあ、割れても割れなくても周りからは歓声が上がりが大いに盛り上がった。二つ目は割箸で作るゴム鉄砲。私も子どもの頃よく作って遊んだのでとても懐かしかった。作り方を印刷してくれたり、棘が刺さらないようにカットした割箸のバリをヤスリで丁寧に取ってくれたり、怪獣をプリントしてペットボトルに巻きつけた的まで準備してくれた富澤さんに感謝! 感謝! 三つ目はカキ氷。7月14日のかかし作りの時にも参加した人に無料で提供したが、これがまた大好評で今回のかかし祭りでもアツという間に無くなった。氷にかけるシロップは市販のレモンとイチゴ、そして会員の前田さんが作ってくれた赤シソの3種類。ちょっと酸味の効いた清涼感あふれる赤シソのシロップがカキ氷と良くあってとても美味しかった。カキ氷職人の坂巻さんも回数を重ねる毎に腕を上げている。来年以降もトラストの夏の風物詩として定着しそうだ。四つめは例年行っている生物観察。田んぼ周辺の生物を捕まえて遊んだ後、遠藤理事長から冬水田んぼと周辺の生態系について30分ほど講義があった。

最後に今年のコテストの結果発表。金賞「国民栄誉賞、長嶋茂雄」(あらきのお家)19票、銀賞「ふなっしー」(チーム國方)18票、銅賞「魔女の宅急便」(チーム國方)、以下佳作「すずめのお宿はどこ?」(手賀沼ファーム)、「うなぎちゃん」(チーム福井)、「福島を忘れない」(我孫子消費者の会)、「キティーちゃん」(チーム安倍)、「あまちゃん」(チーム大森)、「中澤親子」(チーム中澤)。投票総数161票(内2票は判別不能)、有効投票159票だった。

(15周年記念PJT「かかし祭り」担当リーダー 福井 教之 記)

◆「かかし祭りに参加して」

宇佐美 泰夫 記（農教室一年次生）

手賀沼トラストの「かかし祭り」は、手賀沼流域フォーラムが企画する行事の一環として毎年参加しています。手賀沼流域フォーラムは「生物多様性を考える」活動をしています。「冬水田んぼ」もその取組、今年もその田んぼの周りに「かかし」を立てるイベントが行われました。

かかし作りには、「あらかのお家」（デイサービスセンター）の方々も参加され、見事に金賞を獲得されました。受賞作品は「国民栄誉賞、長嶋茂雄」で、往年の長嶋選手の雄姿が見事に表現されていました。また、我孫子四小、並木小、湖北台西小、柏五小の子どもたちも参加してくれました。案山子を作ることによって、子どもたちが自然の営みの大切さを肌で感じてくれたことと思います。その他の作品も良く工夫され、力作ぞろいで、初めて参加した私は大いに楽しませていただきました。

手賀沼流域フォーラム事務局長の竹中さんは「手賀沼は10年前に水質ワースト1位を脱し、順位も年々改善していましたが、その後少しずつ水質が悪くなっていて、一昨年はワースト2位になってしまいました。」と話されています。水質の良い手賀沼を維持することは本当に難しいようです。

古代米の赤米、黒米、そしてコシヒカリ、マンゲツモチ、合計10アールの田んぼを28体のかかしが取り囲みました。その田んぼに集まる生物の多さに驚きました。子どもたちが捕まえたものの一部をあげると、アメリカザリガニ、アキアカネ、銀ヤンマ、それにカブトムシもいました。ハス田ではシオカラトンボも見られました。「生態系ピラミッドがうまく形成されて、はじめて豊かな自然が生まれます。どの階層も絶滅させてしまえば、環境が破壊されてしまいます。」と遠藤理事長も話されていました。人が英知を集めて自然を守らなければならないと、改めて考えさせられた一日でした。

◆「かかし祭りに初めて参加して」

岡村 日菜子 記（小学年生）

虫とりをしたり、すいかわりをしたり、いろいろ体験しました。虫とりあみで、飛んでいるとんぼをつかまえてうれしかったです。いねの所にいとんぼが2匹いました。コオロギ、カマキリなど色々な虫がいました。初めて虫とりをしたので楽しかったです。

すいかわりも初めてしました。まん中にちゃんとあたったのでうれしかったです。すいかは、甘くておいしかったです。トマトもおいしかったです。

かかしのコンテストでは、私達のチームが作った「ふなっしー」と「魔女の宅急便」がえらばれてうれしかったです。表彰状をもらった時、少しくんちょうしました。でも私たちのチームが「銀賞」と「銅賞」をとれてうれしかったです。でも、一票差で「金賞」がとれなかったのは少しくやしかったです。

初めてやることがおおかったので、とても印象に残る楽しい一日でした。

◆「かかし祭りの裏方として」

栗山 千代子 記（15周年記念PJT「かかし祭り」担当スタッフ）

第4回かかし祭りについて舞台裏からご紹介します。金賞は「国民栄誉賞、長嶋茂雄」、銀賞は「ふなっしー」、銅賞は「魔女の宅急便」、佳作は「すずめのお宿はどこ？～お芋をお食べ～、「うなぎちゃん」、「福島を忘れない～避難生活、津波、原発～」、「キティちゃん」、「あまちゃん～じぇじぇ～」、「中澤親子」でした。今年から投票権は一人二票、自分の作品とお気に入りの案山子を応援できるようにしました。力作が多く、金賞と銀賞は一票差という大接戦でした。

8月下旬、夏休みの宿題のラストスパートをかける時期に大勢の子供さんたちが参加してくれました。昔遊びや昆虫採集を楽しんでもらいました。スタッフとして熱中症対策には万全を期しました。カキ氷、スイカ割り、しそシロップ、プチトマト、手賀沼ファーム特製の麦茶などのおかげで36℃の猛暑を無事乗り切ることが出来ました。創立15周年を記念して新調したテントも強い日差しを避けるのに大活躍でした。

最後に投票結果の発表と遠藤理事長の講義があり、今年のかかし祭りは盛況のうちに終了しました。

来年に向け、皆さんにお願いがあります。案山子の衣装ですが、風雨に1ヶ月以上晒されるため、綿、化繊など、軽く乾きやすい素材が最適です。シーツ等も色白美人の案山子に変身しますから、来年も宜しく願います。

昨年扇形から進化した、肩車案山子や箆に乗った魔女、お友達や親子ペア、大河ドラマの八重さん VS じぇじぇのあまちゃん対決、新旧キャラのふなっしーVSキティちゃん対決等など、色々楽しめました。

皆さん！ 稲刈りには是非参加して、雨にも、風にも負けず頑張っている28体の案山子たちに会いにきてください。

「手賀沼流域フォーラム」とは

手賀沼流域フォーラムは手賀沼の水質や流域の環境保全を進めるため市民活動団体、流域7市（柏、我孫子、印西、白井、鎌ヶ谷、松戸、流山）、手賀沼水環境保全協議会が協働し、千葉県手賀沼親水広場の協力、山階鳥類研究所の後援で開催しているものです。2008年から「手賀沼の生物多様性をともに考えよう」をテーマとして活動しています。（手賀沼流域フォーラム ホームページから）

私の故郷は、伊勢志摩国立公園の中心地である三重県伊勢市です。伊勢といえば、昔から「お伊勢さん」の名で親しまれ、「おかげ参り」で知られている「伊勢神宮」です。

伊勢神宮は、日本人の心の故郷と言われており、全国民の氏神と尊ばれ、神宮と言えば、伊勢神宮と言われております。神宮には、天皇家のご祖神である女神（天照大御神）の「内宮」(ないくう)と天照大御神の食事を司る女神（豊受大御神）(とよけのおおみかみ)の「外宮」を中心に、14所の別宮、109所の摂社、末社、所管社の全部で125所の宮社から成りたっております。

神宮のお祭りは、沢山ありますが、最大のお祭りは、神嘗祭(かんなめさい)で毎年10月15日から17日まで、その年の新穀を先ず、天照大御神に奉り、一年間の御守護に対する感謝の念を捧げると共に、世の中の平和と発展をお祈りする行事です。もう一つ、テレビや新聞等で報道され、話題になっている「式年遷宮」と言う大きな行事があります。

「式年遷宮は、20年毎にすべての神殿を作り替え、

御装束、神宝をととのえ、神様に御移り願う儀式で、約1300年前から続けられております。今年は、第62回の式年遷宮で、遷御の日が、内宮は10月2日、外宮は10月5日と正式に定められております。

遷宮の儀式に向かって、最初の山口祭から数々の諸祭儀が執り行われています。その中で「御木曳」(おきひき)は、市民全員が町会ごとに参加して行われる最大の行事です。御木曳は社殿の造営用材の原木を両宮の神域内に曳き入れる祭りで、伊勢市内では、平成18年から行われています。今夏は遷宮へ向けて、新宮の御敷地にお白石を奉納する「お白石持(しらいもち)行事」が行われ、神領民として私も参加しました。

正統派のお伊勢まいりは、二見浦の浜参宮「禊」(みそぎ)からですが、20年に一度の正遷宮に下宮と内宮に参拝されれば、尊く、清々しく、嬉しく感じられ、とても気持ちよくなることでしょう。皆様、是非、伊勢にお出かけ下さい。

伊勢名物: 赤福餅、へんば餅、二軒茶屋餅、伊勢うどん、てこね寿司。

【農地法解説】

「農地法 その2」

理事 坂巻 宗男

少し時間が空いてしまいましたが、引き続き農地法について記していきます。

前回は、そもそも農地法が戦後間もなくGHQによる農地解放を担保するものとして成立(昭和27年)した背景をのべてきました。この法律の大きな方針は地主制から小作農を解放し、自作農主義(農地は耕作者自らが所有すること)を進めるためのものです。

法律の主な内容は、農地の取得や賃貸借の許可制、農地転用の規制、小作地の所有制限、耕作権の保護などです。

そして、その後昭和45年、さらに平成21年に大きな法改正が行われました。これらの改正の方針は、農地の流動化を進めること、農地の利用を進めることです。いわゆる株式会社の農業参入や、私たちも関るNPO法人による農業参入が認められるようになったのもこれらの改正の流れです。

今回は昭和45年の法改正の動きを見てみます。この時の法改正は「自作農主義から借地主義への転換」と言われています。

先ほども記したように、そもそも農地法は農村地域の民主化を進めるため、大地主からの小作農の解放が目的とされました。その結果、多くの自作農が誕生し、農地は細分化されます。一方で、昭和30年代後半から農業の機械化が進展し、経営規模による生産性の格差が広がります。農家の兼業化も進み、作業委託の動きも出始めます。

また、昭和36年には、農業基本法が成立し、高度経済成長に伴う農業労働力の流失や貿易の自由化の流れの中で、農業近代化の方針が示されました。そこで、自作農主義は生かしたまま、農地の流動化を促し、規模の拡大を進めることとなりました。今まで設けられていた農地の権利を取得するための上限が撤廃されたり、賃貸借の制限を緩和したりしました。また、それ以外にも、農業生産法人の要件の緩和、小作地の所有制限の緩和、農地保有合理化事業の新設などがありました。

その後、幾度かの農地の流動化を促すような法改正や新たな法律の制定などを経て、農地法は平成21年に大きな改正へと至りました。

以上

● 9月～10月度 活動計画（全会員が対象の「合同活動」、「イベント」等に「網かけ」をしています。）

活動日	開始時間	活動区分	活動内容	担当部門
9 1 日	8:30	合同活動	ハザ作り、養蜂部会	農事・農教室G
9 7 土	8:30	農教室	秋冬野菜播種、圃場管理	農事・農教室G
9 14 土	8:30	合同活動	稲刈り(黒米、赤米、コシヒカリ)、天日干し	農事・農教室G
9 15 日	8:30	合同活動	根戸城址通り清掃、活動場所見回り管理、養蜂管理	環境保全G
9 21 土	8:30	合同活動	稲刈り(もち米)、天日干し、脱穀(お弁当持参のこと)	農事・農教室G
9 26 木	9:00	竹教室		環境保全G
9 28 土	8:30	合同活動	稲脱穀、(脱穀終了後、農教室圃場管理)	農事・農教室G
9 29 日	18:00	会議	H25 年度第 6 回定例理事会	事務局
10 6 日	8:30	定例活動	根戸城址通り清掃、活動場所管理	環境保全G
10 12 土	8:30	農教室	サツマイモ、ラッカセイ収穫、圃場管理	農事・農教室G
10 20 日	8:30	定例活動	根戸城址通り清掃、活動場所管理	環境保全G
10 24 木	9:00	竹教室		環境保全G
10 26 土	8:30	合同活動	そば刈入れ、ハザ掛け(生育状況により変更あり)	農事・農教室G
		農教室	そば刈入れ終了後、サトイモ、ダイコン収穫	々
10 27 日	18:00	会議	H25 年度第 7 回定例理事会	事務局

稲刈り・脱穀のご案内

今年の米作りは、4月13日(土)に農教室の1年次生、2年次生を中心に予措(塩水選、水洗、種子消毒、浸種等)を行い、4月20日(土)、育苗箱(もち米18箱、うるち米18箱、古代米5箱)に播種。人気のうるち米を例年の倍に増やしました。5月4日(土)にプール育苗を開始、苗は順調に生育しました。

5月18日(土)には総勢98名(会員、家族、一般、子ども)の方が参加して田植えを行いました。終了後、新緑の根戸城址で田植えが順調に終わったことを「田の神」に感謝し、豊作を願って早苗饗が行われました。

いよいよ収穫の秋を迎えました。下記の通り、稲刈り、脱穀を行います。米作りは「自然との共生」を理念とする手賀沼トラストのメインの活動です。全会員の皆さんが参加する大切な行事です。全会員の皆さん、ご家族、お友達等をお誘い頂き、収穫の喜びを味わいましょう。

記

と き： 9月14日(土) 8時30分～
黒米、赤米、うるち米の刈取り、ハザ掛け

9月21日(土) 8時30分～
もち米の刈取り、ハザ掛け、脱穀

(この日はお弁当をご持参下さい。)

9月28日(土) 8時30分～
もち米の脱穀

※ 雨天の場合は翌日に順延(HPの「お知らせ」参照)

ところ：根戸新田(手賀沼トラスト冬水田んぼ)

その他：作業しやすい服装、お飲み物をご持参下さい。
事務局

「お知らせ」

- ◆ 原理事の復帰について
ケガのため療養中で理事長付であった原勇一理事が快復され、9月1日付で環境保全グループサブリーダー(果樹部会担当)に復帰しましたのでお知らせします。
- ◆ JBF2013 ボランティアの募集について
11月2日(土)～3日(日)に開催されるJBFサポーター、JBF 交通ボランティアを募集しています。ご協力いただける方は事務局(國方)までご連絡下さい。

ありがとうございました！

- ◆ 遠藤織太郎さんから5,000円の寄付を頂きました。
- ◆ 高井宏之さんから書籍(「沈黙の春」:レイチェルカーソン著、「身土不二の探求」:山下惣一著)を頂きました。

編集後記

- ◆ 岡村日菜子ちゃんが宿題で忙しい中、かかし祭りに参加した可愛い感想文を書いてくれた。楽しかった夏休みも終わり子どもたちは元気に学校へ。
- ◆ 今夏は全国的に異常気象が続いている。8月31日に蒔いたそばに一雨欲しいところ、前線が南下し、大陸高気圧の張り出しが待ち遠しい。9月7日は農教室の秋冬野菜の種まきだ。
- ◆ 創立15周年記念行事も「かかし祭り」が猛暑の中、事故も無く成功裡に終わり一段落。後は「そば祭り」「餅つき大会」で締めくくる。どんな企画が飛び出すか、今から楽しみだ。(國方記)